

## クイズの正解・不正解ではどちらのほうがより解説を見たがるか

1240548 依岡駿

指導教員 林良平

### 研究背景

人は、成功と失敗どちらを経験した際にその経験の理由を知ろうとするだろうか。プロスペクト理論によると、人は利得よりも損失からの影響が大きいため失敗に対する理由をより知りたがると推察できる。しかし、書店やネットにある世の中の書籍や記事を見ると、結果的に成功した経験の理由が語られることが多い。よって、成功の理由をより知りたがるかもしれない。

### 研究目的

本研究は、クイズの正解・不正解・解説に置き換えてどちらの方がより解説を見たがるのかを明らかにする。また、その結果がプロスペクト理論などの諸理論と整合性があるのかを確認することを目的とした。

### 研究方法

Yahoo!クラウドソーシングを用いて、自作のオンライン実験ウェブサイトに日本人の被験者を誘導し、300名の被験者を対象にオンライン実験によりデータを収集し、分析した。自作の実験ウェブサイトは被験者に中国語の文章に対応する日本語の正しい訳を3択の選択肢から1つ選ばせるというクイズを出題した。

### 分析結果

集計したデータを二項検定により分析し、正解・不正解が被験者の解説選択行動に影響を与えるのかを分析した。その結果、正答割合により影響が有意な場合とそうでない場合があった。両側検定によると全体として不正解の解説を見る傾向があることが明らかになった。また、被験者に与えるクイズに対する報酬別での分析も行ったが影響はみられなかった。

### 考察・結論

被験者の傾向としてクイズの正解・不正解は、被験者の解説を見る行動に対して影響を与えた。特に不正解の解説を見る傾向が強いということが明らかになった。本結果は、プロスペクト理論と整合的な結果であった。また、成功の理由を求める推察より失敗を避けるプロスペクト理論の主張が支持された。

最後に本研究がクイズの正解・不正解に対する解説を見る選択行動を収集できているのかを批判的に分析し、改善点を論じた。